

# 自然大好き ねいの里だより

## 13 春の女神、ギフチョウ

この時期、カタクリの可憐な花に見とれていると、どこからかアゲハチョウの仲間、ギフチョウが蜜を求めて飛んできます。

ギフチョウは岐阜県で最初に採集されたことから、この名前が付いたと言われているチョウです。ねいの

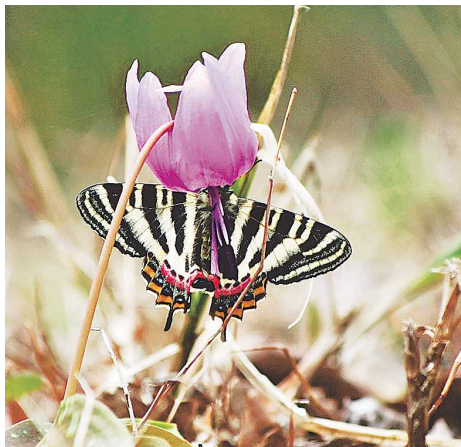
里で見掛けるようになると、春が実感できます。

チョウの幼虫は、種類によって好んで食べる植物が決まっています。ギフチョウの幼虫は、ヒメカンアオイという草を食べて成長します。そのため、この植物の葉の裏に卵を産むのです。

### 幼虫の好きな葉増やす

ねいの里ではギフチョウを守るため、

ヒメカンアオイを保護し、数を増やす努力をしています。11日にギフチョウなどの春を感じさせる生き物を観察する行事を開くので、ぜひ「春の女神」に会いに来てください。(富永宣宏)



カタクリとギフチョウ



ギフチョウの卵